学校番号	３１３

令和３年度　芸術科書道

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	前期１ 後期１	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅲではさらに発展させた作品作りを通し、身近で身の回りに飾ることの出来る作品を選んで、創作し、その工程を経験し理解するようにしましょう。
・卒業した後にも書を愛好し、鑑賞できるに能力を高めましょう。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：書への 関心・意欲・態度	b：書表現の 構想と工夫	c：創造的な書表現の 技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

	色紙作品を作ろう自分の作品について語り他人の作品を味わおう（作品発表）	・色紙作品制作 語句 の選定 文字調べ 草稿作成 半紙による作品制作後色紙への清書、押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会	○	○	○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	生活の中の書	・年賀状	○	○	○	○	a:仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。